

表1:平成25年度における地方ブロックDMATロジスティクス研修、DMATインストラクター研修会等の実施実績

研修名	主催者	開催日程	開催場所	受講者数
平成25年度 北海道ブロックDMATロジスティクス研修	DMAT事務局	2014/3/8~9	手稲溪仁会病院	43名
平成25年度第1回 東北ブロックDMATロジスティクス研修	岩手県	2013/7/27	盛岡市総合福祉センター	57名
平成25年度第1回 東北ブロックDMATロジスティクス研修	DMAT事務局	2014/1/18~19	仙台市急患センター	43名
平成25年度栃木県DMATロジ研修会	栃木県 保健福祉部医事厚生課	2014/2/18	栃木県庁 昭和館会議室	22名
平成25年度愛知県DMATロジ研修会	愛知県	2013/5/18	愛知県東大手庁舎 407 会議室	58名
平成25年度第1回 近畿地方災害医療ロジスティクス研修会	滋賀県 健康福祉部医務薬務課 近畿地方災害医療ロジスティクス検討会	2013/7/28	滋賀県庁大津庁舎	90名
平成25年度第2回 近畿地方災害医療ロジスティクス研修会	滋賀県 健康福祉部医務薬務課 近畿地方災害医療ロジスティクス検討会	2014/3/8~9	草津総合病院	77名
平成25年度中国ブロックDMATロジ研修会	DMAT事務局	2013/8/24~25	鳥取県庁	48名
平成25年度中国ブロックDMATロジ研修会	広島県 健康福祉局医療政策課	2013/10/19~20	広島大学病院	20名
平成25年度広島県DMATロジ研修会	広島県 健康福祉局医療政策課	2014/2/19	広島県庁自治会館会議棟 101 会議室	39名
平成27年度島根県DMATロジ研修会	島根県	2014/2/8~9	島根県立中央病院 会議室1	20名
平成25年度中四国ブロックDMATロジ研修会	DMAT事務局	2013/6/8	愛媛県立医療技術大学	55名
平成25年度四国ブロックDMATロジ研修会	四国四県連携(災害医療体制の強化構築)事業 四国ブロック災害医療ロジスティクス検討会	2014/2/23	高知県庁1階 正庁ホール	90名
平成25年度徳島県DMATロジ研修会	徳島災害医療ロジスティクス検討会	2014/1/11	徳島市民病院 地下1階 講義室	32名
平成25年度大分県DMATロジ研修会	大分県医師会及び大分県大分県立病院	2014/3/15	大分県立病院3階講堂	17名
平成25年度九州ブロックDMATロジ研修会	DMAT事務局	2014/2/8~9	鹿児島大学	78名
平成25年度熊本県DMATロジ研修会	熊本県	2014/1/15	熊本県庁	14名
平成25年度沖縄県DMATロジ研修会	沖縄県	2013/11/26	沖縄県立南部医療センター こどもセンター	79名
平成25年度DMATインストラクター研修	DMAT事務局	2014/3/21-22	愛媛県松山市	107名

図4: 関連業界とヒアリングの進捗状況



図5:平成25年度 広域医療搬送訓練(関係業界団体との連携)時系列

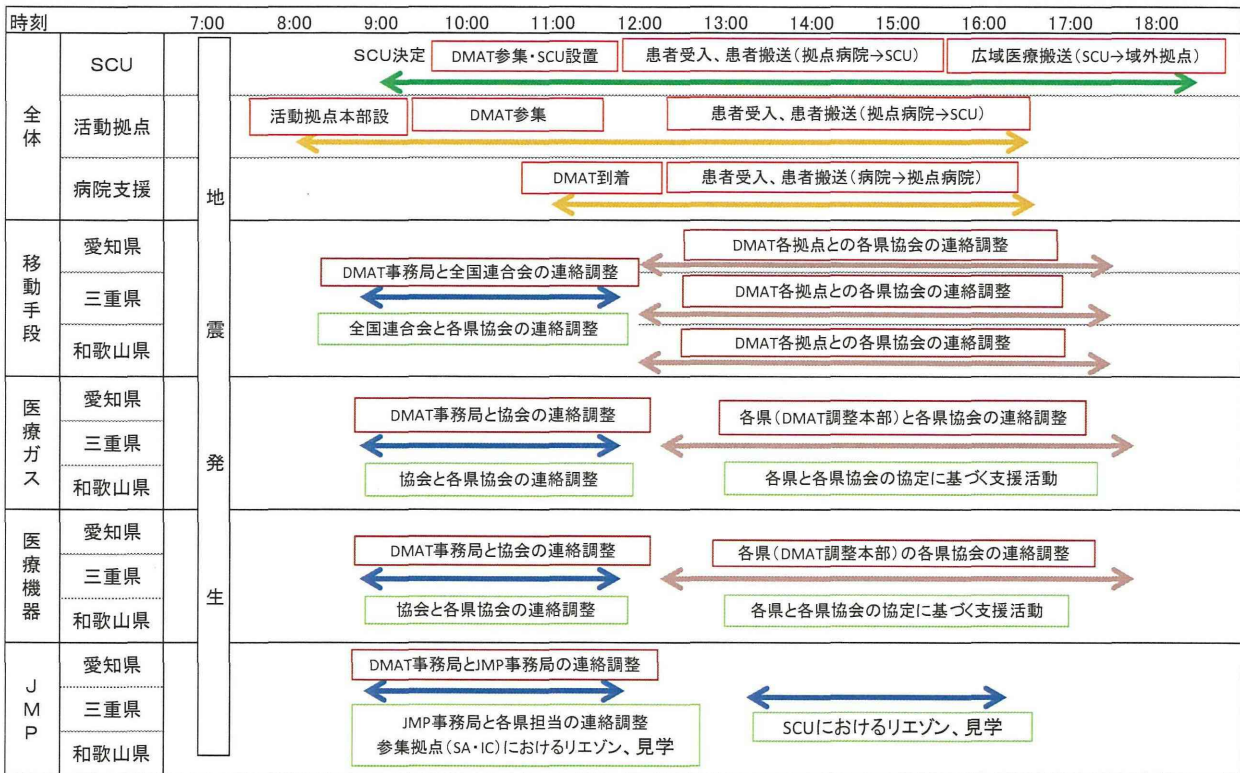


表2: 関連業界との連携訓練実績

	全国ハイヤー・タクシー連合会	日本福祉タクシー協会	日本医薬品卸業連合会	日本医療機器販売業協会	日本産業・医療ガス協会	民間企業等(酸素濃縮機を含む)
H24広域医療搬送訓練						△
H24近畿ブロック訓練	○	△				
H25広域医療搬送訓練	○	○	△	○	○	○
H25関東ブロック訓練	○	△		△	△	
H25近畿ブロック訓練		△				
H25中国ブロック訓練					△	

1. ○はDMAT事務局と業界団体の連携訓練を含めた連携訓練

△は被災地域内での地域の関連業界団体との連携訓練

2. 日本医薬品卸業連合会との連携訓練は県の調整による(訓練時ヒアリング未実施のため)

表3：NEXCO各社との連携訓練の実施実績

日時	訓練主催	高速道路	参集場所	特徴	備考
2012.9.12	NEXCO東日本	常磐自動車道	上り 守谷SA	ヘリポート使用、各関係機関参加(進出部隊、サポートチーム)	
2012.11.9	関東ブロック訓練	常磐自動車道	下り 守谷SA	エアータントでの設置	
2013.1.26	近畿ブロック訓練	名神高速道路	下り 草津SA	赤十字無線中継	
2013.3.12	中部ブロック訓練	北陸自動車道	尼御前SA		
2013.3.19	NEXCO東日本	DIG訓練		有明の丘基幹的広域防災拠点	
2013.8.31	政府広域搬送訓練	東名高速道路	豊田IC/豊田保全	保全事務所を使用・警察との協力	21チーム
2013.8.31	政府広域搬送訓練	阪和自動車道	下り 紀ノ川SA	医療資機材の搬入集積	11チーム
2013.8.31	政府広域搬送訓練	新名神高速道路	土山SA	除雪車両基地/上下線からのアプローチが可能	18チーム
2013.9.20	関東ブロック訓練	東名高速道路	下り 海老名SA	エアータントでの設置	35チーム
2013.10.5	東北ブロック訓練	東北自動車道	下り 国見SA	自衛隊との協力/自衛隊車両への乗り換え/被災県外での設置	14チーム
2013.10.26	近畿ブロック訓練	名神高速道路	栗東IC/管理事務所	事務所内での活動	22チーム
2013.11.2	中部ブロック訓練	第2東名高速道路	上り 浜松SA	県の指定参集拠点	25チーム
2013.11.9	中国ブロック訓練	山陽自動車道	上り 沼田PA	テントにて仮設置 警察に道路使用許可申請	19チーム
2014.03.14	NEXCO東日本	常磐自動車道	上り 守谷SA	開店前のフードコートを使った室内訓練	5チーム

図6：空路参集チームの陸路移動手段

県調整本部が手配し、名古屋空港に待機している陸自車両、西春日井消防マイクロ、介護タクシーを活用。

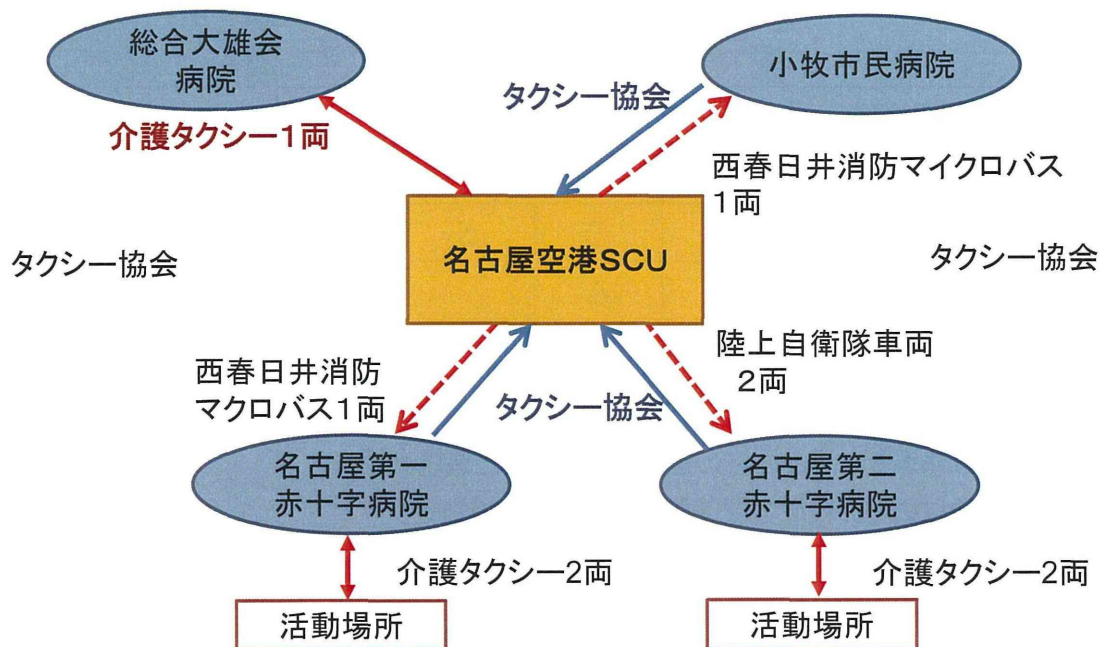


図7:災害時における
交通規制訓練



鳥取赤十字病院 山代先生ご提供

緊急交通路確保訓練 by 愛知県警、陸自
信号機操作、高速道路車両随行、車線規制を
行いながら名古屋空港からDMAT7隊移動

図8 : D M A T 訓練における酸素濃縮器運搬経路



平成25年度第1回統括DMAT登録者技能維持研修プログラム

資料1

2013.7.22~7.23

月日	時間	プログラム	場所
第1 日 7 月 22 日 (月)	10:00 ~ 10:10 10分	オリエンテーション 開会式 ※国立病院機構災害医療センター 小井土 雄一	地域医療研修センター 外来棟4階
	10:10 ~ 10:20 10分	1. 講義「本研修の意義」 ※ 担当：山形県立救命救急センター 森野 一真	
	10:20 ~ 10:50 30分	2. 講義「DMATのロジスティクスについて」 ※ 担当：国立病院機構災害医療センター 市原 正行	
	10:50 ~ 11:00 10分	休憩・席替え	
	11:00 ~ 12:20 80分	3. 実習「EMIS」 ※担当：兵庫県災害医療センター 中山 伸一 / 市原 正行	
	12:20 ~ 13:10 50分	昼食・席替え	
	13:10 ~ 13:40 30分	4. 講義「DMAT戦略・戦術」 ※ 担当：国立病院機構災害医療センター 近藤 久禎	
	13:40 ~ 13:50 10分	休憩・席替え	
	13:50 ~ 14:50 60分	5. 机上演習「DMATにおける各本部の役割1：DMAT活動拠点本部」 ※ 担当：新潟市民病院 熊谷 謙 / 東北大学病院 山内 聡 総合回生病院 関 啓輔 / 熊本赤十字病院 井 清司	
	14:50 ~ 14:55 5分	休憩	
	14:55 ~ 15:55 60分	6. 机上演習「DMATにおける各本部の役割2：DMAT都道府県調整本部」 ※ 担当：国立病院機構災害医療センター 近藤 久禎 / 福島県立医科大学 島田 二郎 / 岩手医科大学附属病院 眞瀬 智彦	
	15:55 ~ 16:05 10分	休憩・席替え	
	16:05 ~ 17:15 70分	7. 講義「事例からの教訓1：中越沖地震」 ※ 担当：/新潟市民病院 熊谷 謙 / 新潟県厚生連村上総合病院 林 達彦 国立病院機構災害医療センター 近藤 久禎	
	17:15 ~ 17:25 10分	休憩	
17:25 ~ 19:00 95分	8. 講義「事例からの教訓2：東日本大震災」 ※ 担当：/新潟市民病院 熊谷 謙 / 東北大学病院 山内 聡 横浜労災病院 中森 知毅 / 国立病院機構災害医療センター 近藤 久禎		
第2 日 7 月 23 日 (火)	9:00 ~ 9:50 50分	9. 机上演習「DMATにおける各本部の役割3：DMAT・SCU本部」 ※ 担当：兵庫県災害医療センター 中山 伸一 / 近森病院 井原 則之 東北大学病院 山内 聡	地域医療研修センター 外来棟4階
	9:50 ~ 10:40 50分	10. 机上演習「DMATにおける各本部の役割4：DMAT域外拠点本部」 ※ 担当：名古屋掖済会病院 北川 喜己 / 山形県立中央病院 森野 一真	
	10:40 ~ 10:50 10分	休憩・席替え	
	10:50 ~ 12:10 80分	11. 講義「事例からの教訓3：東日本大震災」 ※ 担当：兵庫県災害医療センター 中山 伸一 / 名古屋掖済会病院 北川 喜己 / 山形県立中央病院 森野 一真	
	12:10 ~ 13:00 50分	昼食・席替え	
	13:00 ~ 15:00 120分	12. 実習「本部運営実習」 ※ 担当：国立病院機構災害医療センター 小早川 義貴 / 市原 正行	
	15:00 ~ 15:10 10分	休憩・席替え	
	15:10 ~ 16:10 60分	13. 机上演習「地方ブロック訓練の企画・実施について」 ※ 担当：国立病院機構災害医療センター 市原 正行	
	16:10 ~ 16:40 30分	14. 机上演習「組織間連携のポイント（MCLSの現状と今後）」 ※ 担当：鳥取大学医学部 本間 正人	
	16:40 ~ 16:50 10分	閉会式	

平成25年度 第2回 統括DMA T研修プログラム

2014/1/20~1/21

月日	時 間	プ ロ グ ラ ム	場 所
第 1 日 目 1 月 20 日 (月)	10:00 ~ 10:10 10分	オリエンテーション 開会式 ※ 国立病院機構災害医療センター 高里 良男	内閣府施設 2階
	10:10 ~ 10:20 10分	1. 講義「本研修の意義」 ※ 担当：山形県立救命救急センター 森野 一真	
	10:20 ~ 10:40 20分	2. 講義「ロジスティックス」 ※ 担当：国立病院機構災害医療センター 市原 正行	
	10:40 ~ 10:50 10分	休憩・移動	
	10:50 ~ 11:50 60分	3. 講義「局地災害（机上シミュレーション）」 ※ 担当：名古屋掖済会病院 北川 喜己 / 回生病院 関 啓輔 福島医科大学 島田 二郎	
	11:50 ~ 12:50 60分	昼食	
	12:50 ~ 13:50 60分	4. 講義「実習：EMIS訓練」 ※ 担当：兵庫県災害医療センター 中山 伸一 / 神戸赤十字病院 中田 正明	
	13:50 ~ 14:20 30分	5. 講義「DMA T戦略・戦術」 ※ 担当：国立病院機構災害医療センター 近藤 久禎	
	14:20 ~ 14:30 10分	休憩	
	14:30 ~ 15:20 50分	6. 机上演習「DMA Tにおける各本部の役割1：DMA T活動拠点本部」 ※ 担当：新潟市民病院 熊谷 謙 / 東北大学病院 山内 聡 総合回生病院 関 啓輔 / 熊本赤十字病院 井 清司	
	15:20 ~ 16:10 50分	7. 机上演習「DMA Tにおける各本部の役割2：DMA T都道府県調整本部」 ※ 担当：国立病院機構災害医療センター 近藤 久禎 福島県立医科大学 島田 二郎 / 岩手医科大学附属病院 眞瀬 智彦	
	16:10 ~ 16:20 10分	休憩・移動	
16:20 ~ 17:05 45分	8. 講義「事例からの教訓1：中越沖地震」 ※ 担当：新潟市民病院 熊谷 謙 / 新潟県厚生連村上総合病院 林 達彦 国立病院機構災害医療センター 近藤 久禎		
17:05 ~ 19:00 115分	9. 講義「事例からの教訓2：東日本大震災」 ※ 担当：新潟市民病院 熊谷 謙 / 東北大学病院 山内 聡 横浜労災病院 中森 知毅 / 国立病院機構災害医療センター 近藤 久禎		

平成25年度 第2回 統括DMAT研修プログラム

2014/1/20~1/21

月日	時 間	プ ロ グ ラ ム	場 所
第 2 日 1 月 21 日 (火)	8:30 ~ 9:20 50分	10. 机上演習「DMATにおける各本部の役割3：DMAT・SCU本部」 ※ 担当：兵庫県災害医療センター 中山 伸一／前橋赤十字病院 中村 光伸 近森病院 井原 則之	内閣府施設 2階
	9:20 ~ 10:10 50分	11. 机上演習「DMATにおける各本部の役割4：DMAT域外拠点本部」 ※ 担当：名古屋掖済会病院 北川 喜己／山形県立中央病院 森野 一真／ 札幌医科大学 丹野 克俊	
	10:10 ~ 10:20 10分	休憩・移動	
	10:20 ~ 11:40 80分	12. 講義「事例からの教訓3：東日本大震災」 ※ 担当：兵庫県災害医療センター 中山 伸一／名古屋掖済会病院 北川 喜己／ 山形県立中央病院 森野 一真	
	11:40 ~ 12:30 50分	昼食・移動	
	12:30 ~ 14:00 90分	13. 講義「広域災害・演習」 (1ブース 30分) オリエンテーション 担当：山形県立中央病院 森野 一真 A DMAT活動拠点本部 I ※ 担当：新潟市民病院 熊谷 謙 / 回生病院 関 啓輔 B DMAT活動拠点本部 II ※ 担当：東北大学病院 山内 聡 / 奈良県立医科大学附属病院 畑 倫明 C 地域医療搬送調整・病院避難 ※ 担当：藤沢市民病院 阿南 英明 / 前橋赤十字病院 中村 光伸 D DMAT・SCU本部 ※ 担当：近森病院 井原 則之 / 兵庫県災害医療センター 中山 伸一 E DMAT域外拠点本部 ※ 担当：名古屋掖済会病院 北川 喜己 / 札幌医科大学 丹野 克俊	
	14:00 ~ 14:10 10分	休憩	
	14:10 ~ 15:10 60分	13. 講義「広域災害・演習」 (1ブース 30分)	
	15:10 ~ 15:20 10分	休憩・移動	
	15:20 ~ 16:10 50分	14. 机上演習「地方ブロック訓練の企画・実施について」 ※担当：国立病院機構災害医療センター 市原 正行	
	16:10 ~ 16:40 30分	15. 机上演習「組織間連携のポイント（MCLSの現状と今後）」 ※ 担当：東京医科歯科大学 大友 康裕	
	16:40 ~ 16:50 10分	閉会式 ※国立病院機構災害医療センター 小井土 雄一	

H25年度災害急性期対応研修、広域災害・救急医療情報システム運用操作説明会
プログラム

資料 2

2013/4/22 (月) ~ 4/23 (火)

月日	時間	プログラム	場所
第1日目 4月22日 (月)	9:30 ~ 10:00 30分	受付	災害医療センター 外来棟4階 地域医療研修センター
	10:00 ~ 10:10 10分	開会式 開会挨拶 ※国立病院機構災害医療センター 高里 良男	
	10:10 ~ 10:30 20分	1. 講義「厚生労働省の災害医療対策・DMAT運用・災害救助法について」 講師：厚生労働省医政局指導課 水野 浩利	
	10:30 ~ 10:50 20分	2. 講義「災害医療体制について」 講師：厚生労働省医政局DMAT事務局 近藤 久禎	
	10:50 ~ 11:00 10分	休憩	
	11:00 ~ 12:30 90分	3. 実習「広域災害救急医療情報システム (EMIS) について」 講師：兵庫県災害医療センター 中山 伸一	
	12:30 ~ 13:30 60分	昼食	
	13:05 ~ 13:25 20分	ランチョンセミナー「東日本大震災におけるDMAT活動」 講師：厚生労働省医政局DMAT事務局 近藤 久禎	
	13:30 ~ 15:10 100分	4. 机上演習「災害時の初動における都道府県担当者の役割1」 内容 1) 災害 (緊急事態) の覚知と初動 2) 組織としての初動 3) 医療機関の被災状況の把握とEMIS入力 講師：山形県立救命救急センター 森野 一真、高知県健康政策部医療政策・医師確保課 川内 敦文	
	15:10 ~ 15:20 10分	休憩	
	15:20 ~ 17:00 100分	4. 机上演習「災害時の初動における都道府県担当者の役割1」(続き) 内容 4) 被災地からのDMAT派遣要請 5) DMATの受入、運用 6) ロジスティックサポート 講師：山形県立救命救急センター 森野 一真、高知県健康政策部医療政策・医師確保課 川内 敦文	
	17:00 ~ 17:10 10分	休憩	
	17:10 ~ 17:30 20分	5. 講義「政府の災害対策について」 講師：内閣府 (防災担当) 白岸 正太郎	
	17:30 ~ 18:50 80分 25分 25分 25分 5分	6. 講義「東日本大震災におけるDMAT都道府県調整本部の活動について」 1) 宮城県DMAT調整本部における活動 講師：東北大学病院 山内 聡 2) 岩手県DMAT調整本部における活動 講師：岩手医科大学 真瀬 智彦 / 岩手県保健福祉部医療政策室 小原 亜季子 3) 福島県DMAT調整本部における活動 講師：福島県立医科大学 島田 二郎 4) 都道府県DMAT調整本部の今後の課題 講師：厚生労働省医政局DMAT事務局 近藤 久禎	
第2日目 4月23日 (火)	8:30 ~ 9:00 30分	受付	災害医療センター 外来棟4階 地域医療研修センター
	9:00 ~ 10:30 90分	7. グループディスカッション「体制整備」 講師：日本DMAT検討委員会委員 (地方ブロック代表統括DMAT登録者) 1) 局地災害対応について 講師：前橋赤十字病院 中村 光伸 2) SCUについて 講師：高知県健康政策部医療政策・医師確保課長 川内 敦文	
	10:30 ~ 10:40 10分	休憩	
	10:40 ~ 12:10 90分 45分	7. グループディスカッション「体制整備」(続き) 3) ブロック訓練等の実施体制等について 講師：厚生労働省医政局DMAT事務局 市原 正行 4) 情報・通信体制について 講師：兵庫県災害医療センター 中山 伸一 / 徳島県危機管理部南海地震防災課 坂東 淳	
	12:10 ~ 13:00 50分	昼食	
	13:00 ~ 13:45 45分 45分	7. グループディスカッション「体制整備」(続き) 5) 災害医療コーディネーターについて 講師：厚生労働省医政局DMAT事務局 小早川 義貴	
	13:45 ~ 13:55 10分	休憩	
	13:55 ~ 15:25 90分	8. 机上演習「災害時の初動における都道府県担当者の役割2」 内容 1) 患者搬送 2) 広域医療搬送の要請の判断 3) 救護班等のマネージメント (急性期) 講師：山形県立救命救急センター 森野 一真	
	15:25 ~ 16:25 60分	9. 机上演習「DMAT、医療チームの派遣における都道府県担当者の役割」 講師：藤沢市民病院 阿南 英明 / 神奈川県安全防災局安全防災部災害対策課 一倉 由美子	
	16:25 ~ 16:30 5分 16:30	閉会式 解散	

■平成25年度DMATブロック訓練開催実績

ブロック	幹事県 (開催地)	開催日程	参加者数 (DMAT登録者)
北海道	北海道	平成25年10月29日 (火)	98
東北	宮城県	平成25年10月5日 (土) ~ 平成25年10月6日 (日)	290
関東	神奈川県	平成25年9月20日 (金) ~ 平成25年9月21日 (土)	411
中部	静岡県	平成25年11月2日 (土) ~ 平成25年11月3日 (日)	273
近畿	滋賀県	平成25年10月26日 (土) ~ 平成25年10月27日 (日)	221
中国	広島県	平成25年11月9日 (土) ~ 平成25年11月10日 (日)	235
四国	高知県	平成26年2月22日 (土) ~ 平成26年2月23日 (日)	166
四国	徳島県	平成25年11月2日 (土) ~ 平成25年11月3日 (日)	67
九州・沖縄	沖縄県	平成25年11月27日 (水) ~ 平成25年11月28日 (木)	268
合計			2029

DMATブロック訓練登録フォーム【平成25年度北海道ブロック訓練】

・ 目的

青森県東方沖を震源とする大規模地震を想定し、災害発生直後において、DMAT隊員が自衛隊、消防機関等と緊密な連携を図り、より迅速な医療救護活動が行えるよう、専門的な知識の習得と技術の維持・向上を目的とした訓練を実施する。

・ 日時

平成25年10月29日

・ 場所・会場

千歳市（新千歳空港）、浦河町（日高振興局、ファミリースポーツセンター、境町小学校グラウンド、境町総合グラウンド、浦河港）、函館市（市立函館病院）、北斗市（農業振興センター）

・ 参加機関等、人数、模擬患者数、コントローラー人数

- 参加機関25機関（札幌医科大学附属病院、市立函館病院、市立札幌病院、北海道大学病院、北海道医療センター、手稲溪仁会病院、市立小樽病院、砂川市立病院、日鋼記念病院、市立室蘭総合病院、苫小牧市立病院、総合病院浦河赤十字病院、旭川赤十字病院、旭川医科大学病院、名寄市立総合病院、北見赤十字病院、帯広厚生病院、市立釧路総合病院、陸上自衛隊、海上保安庁、北海道警察、北斗市消防、国土交通省東京航空局新千歳空港事務所、北海道）
- 参加人数 98人（DMAT隊員のみ）
- 模擬患者数 約70人
- コントローラー数 9人

・ 参加車両、航空機

- 病院緊急車両 2台
- ドクターヘリ 0台
- 消防機関救急車 1台
- 消防機関その他車両 5台（自衛隊車両4台、道警パトカー）
- 航空機、ヘリコプター 4機（所属 自衛隊機UH、CH-47、防災ヘリ、道警ヘリ各1機）※防災ヘリ1機は実出動のため、自衛隊機CH-47は故障のため訓練当日は使用せず
- 海保巡視艇（うらづき） 1隻

DMATブロック訓練登録フォーム【平成25年度東北ブロック訓練】

・ 目的

宮城県沖において発生した直下型地震に伴う大規模災害を想定し、東北ブロック各県DMATと関係機関との緊密な連携により被災地における緊急治療、病院支援、広域医療搬送等を迅速に行うことができるよう実践的訓練を実施する。

・ 日時

平成25年10月5日（土）、6日（日）

※ 1日目は実働訓練、2日目は研修会（訓練総括含む）

・ 場所、会場

宮城県仙台地域・石巻地域

DMAT調整本部（宮城県庁5階北側危機管理センター）

DMAT活動拠点本部（仙台医療センター，石巻赤十字病院）

DMAT病院支援指揮所（坂総合病院，東北薬科大学病院，仙台市立病院）

DMAT・SCU本部（霞目駐屯地，仙台空港岩沼訓練場）

参集拠点（国見サービスエリア）

・ 参加機関等、人数、模擬患者数、コントローラー人数

➤ 参加機関 58機関

49医療機関，宮城県，山形県

仙台市消防局，石巻地区広域行政事務組合消防本部，陸上自衛隊

第二管区海上保安本部，宮城海上保安部，NEXCO東日本

株式会社リーベン

➤ 参加人数 約1,100人

➤ 模擬患者数 約200人

➤ コントローラー数 22人

・ 参加車両、航空機

➤ 病院緊急車両 1台

➤ ドクターヘリ 0台

➤ 消防機関救急車 3台

➤ 消防機関その他車両 2台

➤ 航空機、ヘリコプター 4機

（宮城県防災ヘリ，仙台市消防ヘリ，陸上自衛隊ヘリ，海上保安庁ヘリ）

- ・ 訓練想定

平成25年10月5日午前7時30分頃、宮城県沖にてマグニチュード7.5の地震が発生し、仙台地域・石巻地域で最大震度6強を観測。

この地震により、建物倒壊や土砂崩れによる人的被害、火災、電気ガス、水道等のライフライン施設に甚大な被害が多発しているほか、火災や鉄道・道路・橋梁等の破壊寸断など甚大な被害が発生。固定電話、一般携帯電話は使用できない状況。

この地震の発生に伴い、津波が沿岸部に到達したが津波の被害は軽微。津波による漂流者はいなかったが船舶で負傷者あり。

- ・ 実施項目（実施した訓練にチェックしてください）

- 参集訓練
- 現場活動（救護所）
- 現場活動（救助現場・CSM）
- 病院支援
- 域内搬送
- SCU
- 広域医療搬送機内活動
- 本部（調整本部）
- 本部（活動拠点本部）
- 本部（SCU本部）
- 本部（域外拠点本部）
- EMIS
- その他（ ）

- ・ 訓練参加者リスト（別添1）

- ・ 参考資料：訓練時系列（別添2）

DMATブロック訓練登録フォーム【平成25年度関東ブロック訓練】

・ 目的

神奈川県西部地域における大規模災害を想定し、関東ブロックの各都県 DMAT や関係機関との密接な連携により、被災地における病院支援及び広域医療搬送等を迅速に行うことができるよう実践的な訓練を実施すること。

・ 日時

平成25年9月20日（金） 9時～16時

平成25年9月21日（土） 8時～16時

・ 場所・会場

海老名パーキングエリア

神奈川県内の災害拠点病院等

湘南海岸公園(平塚市内)

SCU（海上自衛隊厚木航空基地）

海上保安庁巡視船「いず」

神奈川県庁

・ 参加機関等、人数、模擬患者数、コントローラー人数

➤ 参加機関 80 機関

（関東ブロック7都県（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）のDMAT所属機関）

➤ 参加人数 431 人（DMAT411 人、DMAT 以外 20 人）

➤ 模擬患者数 221 人

➤ コントローラー数 72 人

・ 参加車両、航空機

➤ 病院緊急車両 5 台

➤ ドクターヘリ 5 台

➤ 消防機関救急車 7 台

➤ 消防機関その他車両 4 台

➤ 航空機、ヘリコプター 6 機

（所属 米陸軍、米海軍、陸上自衛隊、第三管区海上保安本部）

- ・ 訓練想定

平成25年9月20日（金）9時30分、神奈川県西部の神縄・国府津－松田断層帯を震源とするマグニチュード7.5の地震が発生。最大震度7を観測した。

この地震により、神奈川県西部・湘南地域で急傾斜地の崩壊発生をはじめ、家屋の倒壊や車両による多重衝突事故等が発生し、多数の傷病者が出ているほか、道路、鉄道など交通網、電気・電話・水道などのライフラインにも壊滅的な被害があり、多数の避難者が発生している。

この被害に対応するため、神奈川県内及び関東ブロック内のDMATに県より出動要請し、病院支援やSCUを立ち上げるとともに、陸路・空路を使い搬送訓練等を実施する。

- ・ 実施項目（実施した訓練にチェックしてください）

- 参集訓練
- 現場活動（救護所）
- 現場活動（救助現場・CSM）
- 病院支援
- 域内搬送
- SCU
- 広域医療搬送機内活動
- 本部（調整本部）
- 本部（活動拠点本部）
- 本部（SCU本部）
- 本部（域外拠点本部）
- EMIS

その他（電子患者情報管理システム活用(3Spidersを使用したトリアージ・傷病者トラッキング)、通信衛生きずな他を活用した高速インターネット通信訓練、日赤無線による通信手段の確保、民間タクシーを活用した傷病者搬送、災害時における協定締結業界との医療資機材の搬入訓練、WEB会議）

- ・ 訓練参加者リスト（別添1）

- ・ 参考資料：以下のものがあれば、ご登録ください。

- 訓練時系列
- 患者設定一覧
- 写真

DMATブロック訓練登録フォーム【平成25年度中部ブロック訓練】

- ・ 目的

大規模災害発生に際し、中部ブロック各県DMATが緊密な連携を図り、被災地における病院支援、広域医療搬送、救急医療等を迅速に実行できるよう実践的訓練を行う。
- ・ 日時

平成25年11月2日（土）7:00（発災）～17:00頃
平成25年11月3日（日）9:30～12:00
- ・ 場所・会場
 - ア 新東名高速道路浜松サービスエリア（参集拠点）
 - イ 航空自衛隊浜松基地（SCU）
 - ウ 県西部医療圏内災害拠点病院 [浜松医科大学医学部附属病院、浜松赤十字病院、聖隷三方原病院]（DMAT活動拠点本部、病院支援）
 - エ 基幹災害拠点病院 [静岡県立総合病院]（参集拠点、DMAT活動拠点本部、病院支援）
 - オ 静岡県庁（静岡県DMAT調整本部）
- ・ 参加機関等、人数、模擬患者数、コントローラー人数
 - 参加機関 43機関
 - 参加人数 244人
 - 模擬患者数 人
 - コントローラー数 29人
- ・ 参加車両、航空機
 - 病院緊急車両 台
 - ドクターヘリ 1台
 - 消防機関救急車 1台
 - 消防機関その他車両 台
 - 航空機、ヘリコプター 1機（所属 朝日航洋 ）
- ・ 訓練想定

「静岡県西部・中部地震」

午前7:00、駿河トラフを震源とするM8.0の地震が発生。
浜松市市街地で震度7を観測。建物倒壊、地盤の液状化、火災等のほか、まもなく津波が来襲し、大きな被害を受ける。
（気象庁により、東海地震と認定）

・ 実施項目（実施した訓練にチェックしてください）

- 参集訓練
- 現場活動（救護所）
- 現場活動（救助現場・CSM）
- 病院支援
- 域内搬送
- SCU
- 広域医療搬送機内活動
- 本部（調整本部）
- 本部（活動拠点本部）
- 本部（SCU本部）
- 本部（域外拠点本部）
- EMIS
- その他（）

・ 訓練参加者リスト（別添1）

・ 参考資料：以下のものがあれば、ご登録ください。

- 訓練時系列
- 患者設定一覧
- 写真

DMATブロック訓練登録フォーム【平成25年度近畿ブロック訓練】

- ・ 目的
近畿地方DMAT連絡協議会設置要綱第6条の規定に基づき、近畿地方のDMAT隊員の技術の向上、相互連携を図ることを目的とする。
- ・ 日時
平成25年10月26日（土）および27日（日）
- ・ 場所・会場
 - (1) 近江八幡市立総合運動公園（滋賀県近江八幡市津田町）
 - (2) たねやグループ「La Collina Kitanosho」事業用地
（滋賀県近江八幡市北之庄町）
 - (3) 愛知川砂利採取業協同組合「原石山」（滋賀県東近江市神郷町）
 - (4) 滋賀県消防学校「錬成館」（滋賀県東近江市神郷町）
 - (5) 東近江行政組合消防本部（滋賀県東近江市東今崎町）
 - (6) 西日本高速道路株式会社関西支社滋賀高速道路事務所
（滋賀県栗東市小野）
 - (7) 滋賀県済生会病院（滋賀県栗東市大橋二丁目）
 - (8) 公立甲賀病院（滋賀県甲賀市水口町）
 - (9) 近江八幡市立総合医療センター（滋賀県近江八幡市土田町）
 - (10) 国立病院機構東近江総合医療センター（滋賀県東近江市五智町）
- ・ 参加機関等、人数、模擬患者数、コントローラー人数
 - 参加機関 44機関
（福井県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、徳島県のDMAT指定医療機関、消防、警察、自衛隊、国・各府県関係機関、民間企業等）※機関数はDMAT指定医療機関の合計数
 - 参加人数 195人 ※DMAT隊員の数（コントローラー除く）
 - 模擬患者数 245人 ※26、27日の延べ人数、ダミーを含む
 - コントローラー数 26人
- ・ 参加車両、航空機
 - 病院緊急車両 57台
 - ドクターヘリ 0台
 - 消防機関救急車 22台

- 消防機関その他車両 134台
- 航空機、ヘリコプター 0機（所属)

・ 訓練想定

鈴鹿西縁断層帯を震源とする直下型の大規模地震を想定(発災時間9時00分)滋賀県東近江地域で震度6強を観測し、甚大な被害が発生したため、滋賀県は近畿管内並びに近隣(福井県・三重県・徳島県)DMAT に対して出動を要請し、当該要請を受けた各府県 DMAT は、被災地へ参集。参集拠点等にて県調整本部からの活動指示を受け、各災害現場において救護活動を実施するとともに、関係防災機関と連携して訓練を実施する。

緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練(26日)および近畿2府7県合同防災訓練(27日)との共催とし、DMAT 訓練は2日間継続した活動を展開する。

・ 実施項目 (実施した訓練にチェックしてください)

- 参集訓練
- 現場活動(救護所)
- 現場活動(救助現場・CSM)
- 病院支援
- 域内搬送
- SCU
- 広域医療搬送機内活動
- 本部(調整本部)
- 本部(活動拠点本部)
- 本部(SCU本部)
- 本部(域外拠点本部)
- EMIS
- その他(福祉タクシーとの連携訓練)

・ 訓練参加者リスト(別添1)

・ 参考資料: 以下のものがあれば、ご登録ください。

- 訓練時系列
- 患者設定一覧

DMATブロック訓練登録フォーム【平成25年度中国ブロック訓練】

ブロック名	中国ブロック
幹事都道府県名	広島県
目的	広島県安芸灘付近を震源とした大規模地震を想定し、大規模災害等の発生時に迅速・効果的な広域医療体制が確保できるよう、中国地区5県のDMAT及び防災関係機関と合同して災害医療訓練を実施し、緊密な連携強化を図ることを目的とする。
日時	①平成25年11月9日(土) 8:30~15:30 ②平成25年11月10日(日) 9:00~13:00
場所・会場	①-1DMAT県調整本部：広島県庁 -2 病院支援(参集拠点)：県立広島病院・JA尾道総合病院・福山市民病院・山陽自動車道沼田PA(上り) -3SCU：広島空港 ② 検証会・意見交換会：広島大学病院(広島市南区)
参加機関・参加人数	・参加機関 66機関 (中国ブロックDMAT40機関、ブロック内指定外DMAT2機関(インストラクター派遣等)、ブロック外DMAT5機関(インストラクター派遣等)、尾道市民病院、広島大学病院(ドクターヘリ)、陸上自衛隊第13旅団、海上自衛隊呉地方総監部、大阪航空局広島空港事務所、三原市消防本部、尾道市消防局、福山地区消防局、NEXCO西日本中国支社、広島国際大学、厚生連尾道看護専門学校、(一社)日本産業・医療ガス協会中国地域本部、(株)NTTドコモ中国支社、KDDI(株)、(株)デジコム、広島県庁(防災航空センター、危機管理監、健康福祉局、三次看護専門学校)) ・参加人数 235人(DMAT隊員のみ) ・模擬患者数 138人(病院訓練を含む) ・コントローラー数 25人(病院訓練を含む)
参加車両・航空機	・病院緊急車両 17台(DMAT参集訓練使用分も含む) ・ドクターヘリ 1機 ・消防機関救急車 10台(三原市消防本部、尾道市消防局、福山地区消防局) ・ヘリコプター 1機(広島県防災ヘリ)
訓練想定	広島県安芸灘付近を震源とする地震が発生。(津波は発生せず) 各地で家屋や建築物が倒壊し、要救助者が多数発生。広島県は広島DMATを派遣要請するとともに、中国地区各県(鳥取県、島根県、岡山県、山口県)にDMAT派遣を要請。 広島県庁に県災害対策本部(医療対策班)及びDMAT県調整本部を設置して災害医療情報を提供し、それに基づき各DMATは参集病院にて活動を行う。その後、人的被害がさらに拡大し、広域医療搬送拠点を設置する。